

# ① テーマ：業務改革 B10班

## ① 時代的・社会的要請

人材不足の深刻化に伴う「働き方改革」の推進

## ② 現状・事例

RPAの導入(早稲田)

→ RPAの導入により1台あたり約24人分の作業量をこなす

ペーパレスの推奨

→ 学費の納入が納付書などで振込可能(近大)

→ 職員へiPad配布(大東)

→ 出席管理・旅費精算のシステム化

## ③ 問題点

◎ 雇用の解雇につながる

◎ 管理できる人がいないと問題がある

◎ (全学的に)導入に消極的

◎ ペーパレスにしたものの、教職員の理解が追いつかず、紙媒体で対応する場面がある。

## ④ 問題点の起因

☆ RPAのおかげで創出した時間が学生一人ひとりを救い上げる業務へのブラッシュアップにつながっていない。

☆ システム勉強会をしていない。

## ② 業務改革 学生ひとりひとりへの支援充実に向けた改革

### ☆ 時代的・社会的要請の根拠

・ Society 5.0社会に向けた改革が急務

→ 異年齢・異学年集団での協働学習が拡大  
個人の能力・進度に応じた学びの場

・ SDGs → 質の高い教育をみんなに!

・ 2040年問題

→ 人生100年時代を見据え、多様な年齢層・ニーズに対する教育体制を!

### ☆ 問題点とその要因

・ 精神的な問題で通学できていない学生へのフォローができていない(→大学に来ることが前提の規則)

・ 社会人入学者が少ない(→学びの環境が整っていない)

### ☆ 大学における時代的・社会的要請への対応状況

(目) LMSを利用し、外国の大学と共同授業を同時に行う

(立) タブレットを使用したAL授業を行う

(重) 学生リーダー育成プログラムの実施

### ☆ 大学が取り組むべきことの方向性・目的

政府が提言する施策を徹底する

→ 学生ひとりひとりへの支援充実に向けた改革が必要!

### ☆ 具体的な事業や方策の提案

#### Youtube x TA

~事例~ 東大、早稲田、東工大... 9大学が  
Youtubeで授業公開公式チャンネルを開設し、多くの学生・社会人が学んでいる

~体制づくりの提案~

・ 修得単位に必要な座学以外の授業時間の規則を改訂  
・ 教員への指導と協力・学内スタッフの準備  
・ 公式チャンネルの設置

※ ネットで知識が得られる時代でも、「通学」の意義、「大学」の存在意義が確立できるように、社会貢献の為の教員への研究支援力の強化や人の繋がりを提供できる環境づくりを目指す。